

## <応用特訓>13 「教育原理」

©2025sakurakosensei 転載・転売・流用禁止

### <問題>

#### 問1

次の文は、「学校教育法」の一部である。( A )～( C )にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

第 22 条 幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な ( A ) を与えて、その心身の発達を ( B ) することを目的とする。

第 29 条 小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを ( C ) ことを目的とする。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	環境	援助	施す
2	教材	援助	教授する
3	教材	助長	施す
4	環境	助長	施す
5	環境	援助	教授する

## 問2

次の文は、平成20年3月に告示された「小学校学習指導要領」に示された小学校の総合的な学習の時間の目標についての記述である。(A)・(B)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら(A)を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、(B)やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。  
(組み合わせ)

- |   | A  | B   |
|---|----|-----|
| 1 | 解答 | 知識  |
| 2 | 解答 | 学び方 |
| 3 | 解答 | 技能  |
| 4 | 課題 | 知識  |
| 5 | 課題 | 学び方 |

## 問3

次の文の著者として正しいものを一つ選びなさい。

知的観点においては、基礎陶冶の理念は、その教育原則を「生活が陶冶する」という全く同じ言葉で言うことができる。道徳陶冶が本質的にわれわれ自身の内的直観から、すなわちわれわれの内的本性に生き生きと語りかける諸印象から出発するのと同様に、精神陶冶はわれわれの外的感覚に語りかけ、活気づける対象の直観から出発する。自然はわれわれの感覚の印象全般を、われわれの生活に結びつける。われわれの外的認識すべては、その生活の感覚の印象の結果である。

- 1 コメニウス (Comenius, J.A.)
- 2 ルソー (Rousseau, J.-J.)
- 3 ペスタロッチ (Pestalozzi, J.H.)
- 4 フレーベル (Fröbel, F.W.)
- 5 デューイ (Dewey, J.)

問4

次の【Ⅰ群】の記述と、【Ⅱ群】の人名を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 子育てについて具体的なたとえ話をまじえながら、庶民にもわかりやすく説いた。また、「知行合一説」を唱え、陽明学の普及に努めた。
- B 階級や僧俗を問わず、一般庶民の子弟にも門戸を開いた「綜芸種智院」を創設した。
- C 「人の性は本善」であるという性善説の立場であった。「和俗童子訓」を著した。

【Ⅱ群】

- ア 貝原益軒
- イ 中江藤樹
- ウ 空海
- エ 聖徳太子
- オ 大原幽学

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | エ | イ |
| 2 | イ | ア | エ |
| 3 | イ | ウ | ア |
| 4 | イ | エ | オ |
| 5 | オ | ウ | ア |

### 問5

次の文は、「障害者差別解消法【合理的配慮の提供等事例集】」（平成 29 年 11 月 内閣府障害者施策担当）の一部である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 言葉だけの指示だと、内容を十分に理解できないで混乱してしまうことがある。  
→ 小学校へ入学してから苦労しないように、言葉だけで指示を聞けるよう指導を続けた。
- B 咀嚼することが苦手であり、通常の給食では喉に詰まらせてしまう可能性がある。  
→ 大きな食材については、小さく切ったりミキサーで細かくしたりして、食べやすいサイズに加工することとした。
- C 触覚に過敏さがあり、給食で使うステンレスの食器が使用できず、手づかみで食べようとする。  
→ 根気強くステンレスの食器を使用することで慣れさせることとした。
- D 多くの人が集まる場が苦手で、集会活動や儀式的行事に参加することが難しい。  
→ 集団から少し離れた場所で本人に負担がないような場所に席を用意したり、聴覚に過敏があるのであれば、イヤーマフなどを用いることとした。
- E 聴覚に過敏さがあり、運動会のピストル音が聞こえると、パニックを起こしてしまうかもしれない。  
→ すぐ近くではピストルの音をならさないようにしたが、小学校ではピストルを使うことが多いので、少し離れたところからピストルでスタートの合図をすることとした。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	○	×	○	×
3	○	×	○	○	○
4	×	○	×	○	×
5	×	○	○	×	×

## 問6

次の文は、「幼稚園教育要領」（平成 29 年告示）第 1 章 第 1 「幼稚園教育の基本」の一部である。（ A ）・（ B ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

教師は、幼児との信頼関係を十分に築き、幼児が（ A ）に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気づき、これらを取り込もうとして、（ B ）したり、考えたりするようになる幼児期の教育における見方・考え方を生かし、幼児と共によりよい教育環境を創造するように努めるものとする。

（組み合わせ）

	A	B
1	身近な環境	試行錯誤
2	身近な環境	表現
3	身近な環境	判断
4	活動	判断
5	活動	試行錯誤

## 問7

次の文は、「学校における「いじめ防止」「早期発見」「いじめに対する措置」のポイント」（平成 25 年 10 月 文部科学省）の一部である。（ A ）・（ B ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

早期発見の観点から、学校の設置者等と連携し、（ A ）を実施することにより、ネット上のトラブルの早期発見に努める。また、児童生徒が悩みを抱え込まないよう、法務局・地方法務局におけるネット上の人権侵害情報に関する相談の受付など、関係機関の取組についても周知する。

パスワード付きサイトや SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、携帯電話のメールを利用したいじめなどについては、より大人の目に触れにくく、発見しにくいいため、学校における（ B ）を進めるとともに、保護者においてもこれらについての理解を求めていくことが必要である。

（組み合わせ）

	A	B
1	SNS 等の検閲	道徳教育
2	SNS 等の検閲	IT 活用教育
3	SNS 等の検閲	情報モラル教育
4	学校ネットパトロール	道徳教育
5	学校ネットパトロール	情報モラル教育

## <解説>

### 問1 正答 4

「学校教育法」第22条、第29条。

第22条 幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な（A 環境）を与えて、その心身の発達を（B 助長）することを目的とする。

第29条 小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを（C 施す）ことを目的とする。

### 問2 正答 5

「小学校学習指導要領」第5章「総合的な学習の時間」第1「目標」の文章。

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら（A 課題）を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、（B 学び方）やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

### 問3 正答 3

ペスタロッチの『白鳥の歌』。

スイスの教育家ペスタロッチは、精神力（頭）、心情力（心）、技術力（手）の3つの能力を調和的に発展させることが教育の目的だと考え、「生活が陶冶する」と主張した。さらに、子どもの知的能力を伸ばすには、言葉より物物を使うべきという直観教授を確立した。

### 問4 正答 3

Aーイ 中江藤樹は、儒学者として朱子学を修めたあと、わが国において陽明学を唱えた。近江聖人ともよばれ、『翁問答』『鑑草』を著した。

Bーウ 空海は、真言宗の開祖である。綜芸種智院は、828（天長5）年に庶民に向けてつくった私立学校である。

Cーア 貝原益軒は、庶民の教育家で知られ、6～20歳までの年齢に応じた教授法と、随年教法（教育課程論）という教材をつくり、躰と教育を重視し、近世において画期的な教育論を説いた。著作『和俗童子訓』では、「人の道」を学ぶことで人間の尊厳が確保されると述べている。

エ 聖徳太子は、飛鳥時代の摂政で、冠位十二階や十七条憲法を制定した。また、『三経義疏』を著し、学習者の状態に応じて教育を行うことや、具体的、経験的なものから始め、抽象的、理論的なものへと徐々に進むなどの教育方法を示した。

オ 大原幽学は、江戸時代の農民指導者である。道徳と経済の調和を基本とした性学を説き、農民や医師、商家の経営を実践指導した。

#### 問5 正答 4

「障害者差別解消法【合理的配慮の提供等事例集】」（平成 29 年 11 月 内閣府障害者施策担当）  
1 「合理的配慮の提供事例」（5）「知的障害」【生活場面例：教育】（以下「事例集1－（5）」）からの出題である。

A × 言葉だけの指示だと、内容を十分に理解できず、混乱してしまう場合の合理的配慮の提供事例として、「事例集1－（5）」－4では、「身振り手振りやコミュニケーションボードなども用いて内容を伝えるようにした。」としている。

B ○ 「事例集1－（5）」－5の文章。

C × 触覚に過敏さがあり、給食で使うステンレスの食器が使用できず、手づかみで食べようとする場合の合理的配慮の提供事例として、「事例集1－（5）」－6では、「シリコン製やポリプロピレン製など、学校にある素材の食器のうちから受け入れやすい触感の食器を用いることとした。」としている。

D ○ 「事例集1－（5）」－7の文章。

E × 聴覚に過敏さがあり、運動会のピストル音が聞こえると、パニックを起こしてしまうかもしれない場合の合理的配慮の提供事例として、「事例集1－（5）」－8では、「ピストルは使用せず、代わりに笛・ブザー音・手旗などによってスタートの合図をすることとした。」としている。

#### 問6 正答 1

問題は、「幼稚園教育要領」（平成 29 年告示）第1章「総則」第1「幼稚園教育の基本」の文章。

教師は、幼児との信頼関係を十分に築き、幼児が（A 身近な環境）に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気づき、これらを取り込もうとして、（B 試行錯誤）したり、考えたりするようになる幼児期の教育における見方・考え方を生かし、幼児と共によりよい教育環境を創造するように努めるものとする。

## 問7 正答 5

「学校における「いじめ防止」「早期発見」「いじめに対する措置」のポイント」(平成 25 年 10 月 文部科学省) (3) 「いじめに対する措置」⑥「ネット上のいじめへの対応」の文章。

早期発見の観点から、学校の設置者等と連携し、(A 学校ネットパトロール)を実施することにより、ネット上のトラブルの早期発見に努める。また、児童生徒が悩みを抱え込まないよう、法務局・地方法務局におけるネット上の人権侵害情報に関する相談の受付など、関係機関の取組についても周知する。

パスワード付きサイトや SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)、携帯電話のメールを利用したいじめなどについては、より大人の目に触れにくく、発見しにくいいため、学校における(B 情報モラル教育)を進めるとともに、保護者においてもこれらについての理解を求めていくことが必要である。